大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F115310105202	設置等組織名	情報デザイン学部
大学名	事業創造大学院大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	新潟	事業計画名	事業創造大学院大学情報デザイン学部設置計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和6年度	1-① 令和6年4月～ 新学部設置等に係る調査 1-③ 令和6年4月～ オンライン教材の研究・開発 1-④ 令和6年4月～ 学務システムの導入と整備 1-⑤ 令和6年4月～ 各種システムの運用開始 1-⑥ 令和6年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 1-⑦ 令和6年10月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の整備 1-⑧ 令和6年10月～ 学内サーバ（授業用）の導入と整備 2-① 令和6年4月～学務システム導入に伴うサーバ機器購入 2-② 令和6年10月～令和7年2月 校舎改修工事（5Fフロア、4FWC）		令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 1-①～1-⑥について、ほぼ計画通りに進行中であるため、上記の通り評価しました。 2-①について計画通りに進行中であるため、上記の通り評価しました。
令和7年度	3-① 令和7年4月～ 大学運営の開始 3-② 令和7年4月～ 各種システムの本格稼働 3-③ 令和7年4月～ オンライン教材の研究・開発（継続） 3-④ 令和7年4月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の追加整備 3-⑤ 令和7年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 3-⑥ 令和8年4月～ セキュリティサーバ（授業用）の導入と整備	1-① 令和6年10月～ 計画変更承認（R6.10.4承認） 1-② 令和7年4月～ 新学部設置等に係る調査 1-③ 令和7年4月～ オンライン教材の研究・開発 1-④ 令和7年4月～ 学務システムの導入と整備 1-⑤ 令和7年4月～ 各種システムの運用開始 1-⑥ 令和7年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 1-⑦ 令和7年4月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の整備 1-⑧ 令和7年7月～ 学内サーバ（授業用）の導入と整備の未実施 2-① 令和7年7月～学務システム導入に伴うサーバ機器購入 2-② 令和7年10月～令和7年2月 校舎改修工事（5Fフロア）	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 1-⑧を除き、1-①～1-⑥について、ほぼ計画通りに進行したことから、上記の通り評価しました。 なお、1-⑧については、学内サーバに搭載するGPUカードを段階的に拡張（リース料として計上）し、最終的な見通しが立った段階で大学資産とすることを想定していたが、昨今の社会情勢（半導体の不足、価格高騰等）の事由により、適切なGPUカードの入手が困難となっていることから、導入未実施となった。 2-①について計画通りにに進行したことから、上記の通り評価しました。 2-②については、4階トイレ改修は資材の調達遅延、費用の高騰等から改修を見送った。
令和8年度		3-① 令和8年4月～ 情報デザイン学部、大学運営の開始 3-② 令和8年4月～ 各種システムの本格稼働 3-③ 令和8年4月～ オンライン教材の研究・開発（継続） 3-④ 令和8年4月～ オンライン教材の製作スタッフ配置と備品等の追加整備 3-⑤ 令和8年4月～ 入学対象者向け入学説明会の実施 3-⑥ 令和8年4月～ セキュリティサーバ（授業用）の導入と整備	令和8年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 3-①～3-⑥について、ほぼ計画通りに進行中であるため、上記の通り評価しました。
令和9年度			令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度			令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価 リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和6年3月 情報デザイン学部設置認可申請予定	令和7年3月 情報デザイン学部設置認可申請	
定員減又は 学部等の廃止			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	事業創造大学院大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化，体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.株式会社新潟人工知能研究所や株式会社オレンジテクラボより技術者数名を講師として招き、AI活用に関する授業科目を開講する他、同社と連携し、課題に関するPBL型の授業科目の複数開講、意見交換会等も実施する予定である。 また、株式会社ドコモビジネスソリューションズと連携し、業務の効率化に向けた情報システムの活用方法についての共同研究等を教育内容に反映させる予定であり、以上を通じて企業との連携を通じた教育体制体制の整備・構築を実施する計画である。	a.AI活用に関する授業科目の開講については、令和8年4月より開講した教育課程において、株式会社オレンジテクラボ所属講師（基幹教員として配置）による授業科目（複数教員、複数科目）を開設した。また、同教育課程においては、今後、課題に関するPBL型の授業科目を複数開講することとしており、株式会社新潟人工知能研究所を始めとする複数の企業から派遣された講師をゲストスピーカーとして招聘し、情報活用に関する実践的な授業を行うこととしている。 株式会社ドコモビジネスソリューションズとの連携については、共同研究等の成果を教育内容に反映させるべく、昨年度から継続的に検討、協議を進めている。この成果については、関連する授業科目（DXプロジェクトⅠ～Ⅲ：令和9年度から開講）での事例発表等で取り上げ、より実践的且つ、教育効果の高い授業として提供できるよう準備を進めている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
c.新潟市周辺地域の高等学校を対象に情報学分野の授業科目を開講（科目等履修制度）する。また、年数回の本学部教員による特別講義、ワークショップ等を実施し、生徒の大学教育、情報学分野への興味関心喚起の一助とする。更には、新潟市周辺地域の通信制高校と合同で起業やeスポーツ等の合同サークルを立ち上げ、初等中等教育機関との連携を図る。 d.本学部は大学通信教育課程であり、非同期型のオンデマンド教材による授業実施のため、場所や時間を考慮せずに学修することが可能であることから、社会人学生にとっては利便性が高く、学びやすい環境となっている。このうえで、カリキュラムに関しては、産業界と連携したプログラムや実務家教員による授業、また、実務に即した課題やプロジェクト学修を通じて、理論だけでなく実践的なスキルを身に着けることが可能な授業を設けることとしており、これらの取組を通じて、社会人学生の受入れ強化を図る。	c.情報学分野の授業科目の開講（科目等履修制度）については、開志創造高校、開志国際高校、開志学園高校の3校にて実施できる見通しである。また、同3校においては、年数回の本学部教員による特別講義、ワークショップ等の実施も併せて行う予定である。更には、新潟市周辺地域の通信制高校と合同で起業や、eスポーツ等のサークルの立ち上げについては、引き続き、今後の検討内容となっている。 d.令和8年４月に開講した情報デザイン学部情報デザイン学科の教育課程は、非同期型のオンデマンド教材による授業として、社会人学生にとっては利便性が高く、学びやすいカリキュラムという位置づけでスタートした。また、同教育課程は、産業界と連携したプログラムや実務家教員による授業や、実務に即した課題解決・プロジェクト学修を通じて、理論だけでなく実践的な知識・スキルを身に着けることが可能な授業となるよう設計し、令和8年度４月より開講した。	

大学名	事業創造大学院大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	情報デザイン学部（工学関係）

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
改組状況				選定		開設			完成年度													
事業計画に定める定員		入学定員	人			800	800	800	800													
		編入学定員	人			0	0	200	200													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	800																
		入学者数	人	-	-	249																
		女子学生数	人	-	-	92																
		社会人学生数	人	-	-	99																
		留学生数	人	-	-	1																
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	800																
		入学者数(B)	人	-	-	249																
		女子学生数	人	-	-	92																
		社会人学生数	人	-	-	99																
		留学生数	人	-	-	1																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.31																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	800																
		編入学定員	人	-	-	0																
		在籍者数(D)	人	-	-	249																
		編入学者数	人	-	-	0																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.31																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	−																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	13																
		授業科目の単位数	単位	-	-	255																

大学名	事業創造大学院大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	800																
		入学者数	人	-	-	249																
		女子学生数	人	-	-	92																
		社会人学生数	人	-	-	147																
		留学生数	人	-	-	1																
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	800																
		入学者数(B)	人	-	-	249																
		女子学生数	人	-	-	92																
		社会人学生数	人	-	-	147																
		留学生数	人	-	-	1																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.31																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	800																
		編入学定員	人	-	-	0																
		在籍者数(D)	人	-	-	249																
		編入学者数	人	-	-	0																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.31																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	–																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	13																
		授業科目の単位数	単位	-	-	255																

大学名	事業創造大学院大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	800																
		入学者数	人	-	-	249																
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	800																
		入学者数(B)	人	-	-	249																
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	0.31																
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	800	1600	2600	3600													
		編入学定員	人	-	-	0	0	200	200													
		在籍者数(D)	人	-	-	249																
		編入学者数	人	-	-	0																
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	0.31																

４.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	申請	選定		開設			完成年度							
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	4,774	8,625	6,163	2,743	4,382	11,190	24,846	16,980											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	5,106
本事業による助成金の額(F)	千円	95,042
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	7,482

特記事項